

来月11日 長田・大国公園→御蔵北公園近く

こうべiウォーク

8年ぶりに復活

阪神大震災から14年になる神戸の町を歩いて、温かい心をつかち合いませんか。震災で壊滅的な被害を受けた神戸市長田区を、復興を支えたボランティアについて考えながら歩く「こうべiウォーク09」が来月11日、8年ぶりに復活する。参加者の寄付を、震災復興などにあたるボランティア団体に提供するユニークな試みだ。

【辻加奈子、中尾卓英】



大正筋商店街を下見て歩く「こうべiウォーク実行委員会」のメンバー
神戸市長田区で

温かい心をつかち合いませんか

阪神
大震災
14年

iウォークは99年、アメリカのエイズウォークを参考に始まった。初回は約3500人が参加、260万円が寄せられた。県などが01年から開催し毎年数千人が参加する震災メモリアルウォークの原型となったが、協賛企業や団体が減り同様の行事が増えたことなどから3年で終了。その後、1月17日に近い日曜日に自主的に続けてき

たかとり教会や、「そばめし」「ほっかけコロッセ」など神戸の下町の味わいが楽しめる丸五市場なども。一方、JR新長田駅南地区に林立する再開発ビルでは空き店舗が目立つなど、震災から14年の現状を垣間見ることできる。今月中旬、コースを下見した神戸まちづくり研究所事務局長、野崎隆一さん(65)は「10年前に使った地図を配るので、復興の進み具合を体感しながら、長田のまちと人に触れ合ってほしい」と話す。問い合わせは、同研究所(078・230・8511)へ。

しかし、来年は開始10年になることや、他のウォーク参加者が年々減少し、震災の風化が懸念された。県などが01年から開催し毎年数千人が参加する震災メモリアルウォークの原型となったが、協賛企業や団体が減り同様の行事が増えたことなどから3年で終了。その後、1月17日に近い日曜日に自主的に続けてき

当日は午前9時半〜10時半、同区本庄町2の大国公園を随時スタートし、約2.5北東にある同区御蔵通5の御蔵北公園近くのみくら5へ午前11時から正午までに着くように歩く。ゴール付近では豚汁などの炊き出しもある。

コースには、震災ボランティア団体の活動拠点になっているカトリック